



夢は大きく、世界で活躍する
プロテニスプレーヤー

横田大夢さん (12歳・持田)

8月10日から16日まで、朝テニスセンター(大阪府)で開催された全日本ジュニアテニス選手権。全国選抜ジュニアテニス大会、全国小学生テニス選手権大会と並び、三大会の一つとして位置付けられているこの大会で、初優勝を飾ったのが横田大夢さんです。

父・順一さんが「行田ジュニアテニスクラブ」のコーチを務めていることもあって、5歳からテニスを始めた横田さん。小学1年生になると関東大会、さらには全国大会出場を見据えて、厳しい練習を重ねてきました。今では関東地区で注目を集める選手となり、1週間のうち30時間ほどコートで汗を流すといったテニス漬けの日々を送っています。

全国大会に初めて出場したのは、小学5年生のとき。全国小学生テニス選手権大会に出場し、さらには全日本ジュニアテニス選手権でベスト16に進出するなど、全国の舞台で輝きを放つ選手へと成長していきましました。小学校最終学年の



今年、全国選抜ジュニアテニス大会への出場を賭けた関東大会で優勝し、「全国3冠も狙える」と自信を持って選抜大会に臨みました。しかし、結果は2回戦敗退。精神的な弱さを痛感し、早朝から走り込んだり、練習ではダッシュを繰り返したりと、これまでに経験したことがないほどの苦しい特訓を自ら課したのです。

7月に出場した全国小学生テニス選手権大会もベスト8に終わり、思うような結果を残せずにいた横田さん。小学校最後の全日本ジュニアテニス選手権では「悔いの残らないテニスをしよう」と心掛けたそうです。順調に勝ち進み、迎えた決勝戦の相手は全国選抜ジュニアテニス大会、全国小学生テニス選手権大会の2冠を達成している選手でした。横田さんは炎天下の中、特訓の成果を遺憾なく発揮。得意とする強烈なフォアハンドが次々と決まったそうです。試合は6-3、6-0のストレートで勝ち、初の栄冠を勝ち取ったのです。

現在、テニス選手を養成するアメリカのテニスアカデミーへの留学を目指している横田さん。「目標は、世界で活躍するプロテニスプレーヤーになること。自分とプレースタイルが似ているジョコビッチ選手みたいになりたい」と照れながら語ります。自分の名前のとおり大きな夢を実現するその日まで、厳しい練習に打ち込む日々が続きます。



俳句

埼玉 萩原 初江
持田 小倉 繁三

よさこいに盛り上りたる敬老日
田の畦に実り祝うか曼珠沙華

向町 茂木 咲子
向町 渡月 峯

天高し余生に夢の五輪かな
竜巻と津波身に入む四畳半

城西 八木橋近蔵
中里 鯨 美智子

秋の風花と遊びて今日も暮れ
林檎湯の香り豊かな北の旅

荒木 蛭間しげ子
長野 野中せき子

華やかな人のおもかげ酔芙蓉
草紅葉風のさそいにおどり出す

矢場 鈴木かづの
城南 橋本千枝子

看護師の胸に一輪萩の花
十六夜の月忍城にかかりけり

持田 丸山 麟一
富士見町 森 節子

追憶は心の憩い星月夜
満月に背中押されてパトロール

長野 小林 富枝
桜町 吉岡 守子

金婚日友からメール秋うらら
ゆらゆらと白き夕顔花ふたつ

荒木 森田 静
向町 小沼 重蔵

身を躲し生きる我が身や秋の蝶
亡き父母に妻と捧げる早稲一番

旭町 大川 和子
北河原 木島 斗川

亡き夫は花野にありて風と舞い
太陽の影太々と敗戦日

城西 鈴木 正夫
(三澤 一水 監修)

喜寿祝いまだこれからと敬老日

はじめまして

平成24年11月生まれのおともだち

平成25年1月生まれのお子さんを募集します

○11月1日(金)~29日(金)に電話またはEメールで広報広聴課 広報広聴担当(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
 ○応募者多数の場合は、12月3日(火)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。

応募お待ちしております!



平原 颯人ちゃん(棚田町)
 平成24年11月8日生まれ
 父 秋幸さん 母 敦子さん
 「元気にいっぱい遊ぼうね!」



長島 由規ちゃん(宮本)
 平成24年11月20日生まれ
 父 寛さん 母 朋恵さん
 「かごとや豆腐店4代目!」



稲田 琉土ちゃん(宮本)
 平成24年11月23日生まれ
 父 泰止さん 母 麻理絵さん
 「元気にいっぱい☆ 我が家の癒し!」



戸田 葵ちゃん(宮本)
 平成24年11月24日生まれ
 父 裕尚さん 母 麻美さん
 「葵の笑顔が元気の源♡」



井桁 慎太郎ちゃん(佐間)
 平成24年11月5日生まれ
 父 幹夫さん 母 寛子さん
 「元気に育て!慎太郎!!」



島田 彩楓ちゃん(斎条)
 平成24年11月1日生まれ
 父 康之さん 母 由佳さん
 「君の笑顔が元気の源♪」



ぎょうだの会社を クローズアップ!!

株式会社 日向製作所 乾燥装置一筋 38年、小粒でもキラリと光る企業



会社プロフィール
 代表取締役 日向昭夫
事業内容
 乾燥装置、搬送装置、脱臭装置、重量物収納棚、反転装置、組立式簡易クレーンなどの製造販売

塗装や印刷物などの乾燥をはじめ、企業活動の多くの分野で必要とされる乾燥技術。今月は、この技術を基盤に多種多様な乾燥装置を提供している株式会社日向製作所を紹介いたします。
 同社は昭和50年にさいたま市で創業して以来「技術重視で社会に貢献すること」をモットーに事業を展開。社員数15人のうち、3割以上が技術職という少数精鋭で顧客の期待に応え続けています。平成20年には行田みなみ産業団地に工場を新設し、より優れた製品の開発・製造に取り組んでいるそうです。
 また、同社では「コンベア型乾燥装置」や「遠赤外線乾燥装置」など、さまざまな種類の乾燥装置を製造しています。その理由は、乾燥させるものや使用する環境によって、適した熱源や処理方法が異なるからです。ユーザーの要望に応じて、高い技術力により一台一台オーダーメイドで製造することから「日

向製作所の製品なら安心して使える」と厚い信頼を得ており、大手企業への納入実績も上がっているそうです。さらに、環境問題への関心の高まりにもいち早く注目。汚泥や木くずを乾燥させ、燃料として再資源化する技術を取り入れるなど、循環型社会の構築を担う企業としても高い評価を得ています。
 同社の活躍は乾燥技術分野のみに留まりません。近年では、自動車部品などの加工に使われる重い金型を、より安全で効率的に保管・移動できるよう、「金型交換装置」や「組立移動式クレーン装置」などを開発し、新規分野にも進出しています。
 創業以来積み上げてきた38年の実績と経験を力に、熱処理関連技術に加え、重量物輸送技術という2つの柱で前進する同社。これからも、お客さまへのきめ細やかな配慮を心掛け、キラリと光る製品を世に生み出し続けます。

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。